

区政世論調査の結果がまとまりました

区は、区民の皆さんの意見や要望を区政に反映するため、毎年、区政世論調査を実施しています。調査へのご協力ありがとうございました。

今号では、平成28年度の調査結果の概要をお知らせします。区政世論調査の結果は、区役所2階情報提供コーナー、各図書館、荒川区ホームページで閲覧できます。

※小数点第2位を四捨五入したため、回答比率の合計が100%にならないものもあります

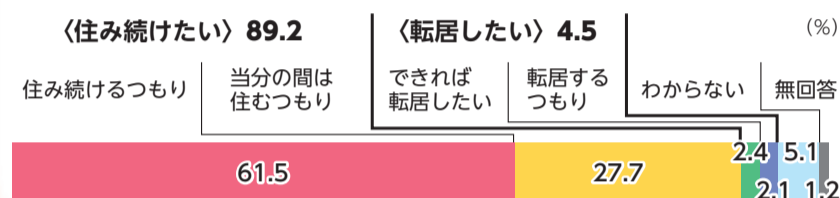
問合せ 秘書課 ☎内線2161

調査の概要	
調査期間	平成28年9月1日～30日
対象	区内在住の満18歳以上の男女2500人を無作為抽出
配布方法	郵送
回収方法	郵送・電子申請
回収率(%)	1267件 (50.7%)

居住と生活環境

Q これからも荒川区にお住まいになりますか

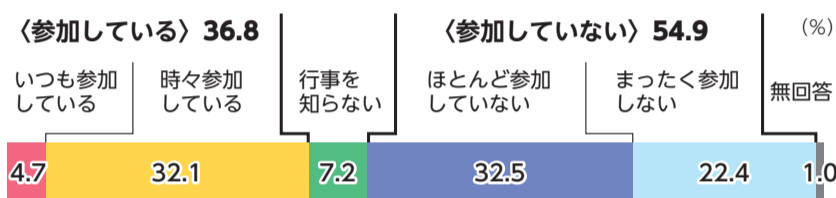
A 「住み続けたい」が9割弱



地域とのつながり・暮らし

Q 地域の行事や活動に参加していますか

A 「参加している」が3割半ば超



広報活動

Q 区政に関する情報は、どのように入手していますか(複数回答)

A あらかわ区報が6割強

あらかわ区報	62.3%
町会の回覧板	28.3%
地域の掲示板	24.5%
わたしの便利帳	19.7%

ほかにあります 区の情報

区政・イベント・気象・災害等、荒川区のさまざまな情報を、携帯電話・スマートフォン・パソコン等へも発信しています。

- 荒川区ホームページ
- 荒川区ツイッター
- 荒川区フェイスブック
- 荒川区メールマガジン

※アドレス・バーコードは、8面下欄を参照

マチイロ
あらかわ区報の発行・荒川区ホームページの新着情報等をスマートフォン・タブレット向けの無料アプリで配信しています。
※Google play、App Storeから無料でダウンロードできます



防災対策

Q あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて、どのような対策を取っていますか(複数回答)

A 「携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している」が5割弱

携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している	49.6%
食料や飲料水を3日以上備蓄している	38.5%
一時集合場所・広域避難場所・避難所等を確認している	35.4%

楽しみながら防災力を向上

3月4日(出)午前10時～午後3時に、あらかわ遊園運動場で「あらかわBOSSA12017」を開催します(雨天時は、3月5日(日)に順延)。大人から子どもまで楽しみながら防災について学べるイベントです。詳細は、区報2月11日号をご覧ください。防災課☎内線418へお問い合わせください。



生涯学習活動

Q あなたが生涯学習活動を行う目的は何ですか(複数回答)

A 「健康の増進を図りたい」が4割半ば超

健康の増進を図りたい	46.5%
余暇を楽しみたい	38.3%
日常生活を向上させたい	31.2%

区の講座やイベントに参加してみませんか



ウォーキングは、手軽に健康の増進を図ることができる運動のひとつです。3月12日(日)午前9時～午後1時にウォーキングイベントを開催します。詳細は、スポーツ振興課☎内線3374へお問い合わせください。



環境

Q あなたは、荒川区の環境対策として、どのような取り組みを充実・拡大していきたいと考えますか(複数回答)

A 「ポイ捨てや歩きタバコ対策の強化」が4割半ば近く

ポイ捨てや歩きタバコ対策の強化	44.4%
不法投棄やごみの散乱防止	34.2%
騒音、振動、悪臭を発生する場所への指導	27.6%

広がっています「あらかわたばこマナー」

「あらかわたばこマナー」を軸として、美化活動や、ポスター掲示(上画像)等でマナーの向上に取り組んでいます。

健康づくり

Q ロコモティブシンドロームという言葉やその内容を知っていますか

A 「知らない」が6割半ば近く

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは

骨・関節・筋肉等、体を支えたり動かしたりする運動器が衰えて、立つ・歩く等の移動機能が低下している状態を言います。要介護や寝たきりの原因の4分の1は、ロコモティブシンドロームが関係しています*。

*平成25年国民生活基礎調査より

ロコモティブシンドロームを予防するために

◆食事で骨と筋肉を丈夫にしましょう
毎日3食しっかり食べて、バランスのよい食事を心がけましょう。特に、たんぱく質とカルシウムは、過不足なくとるようにしましょう。

◆運動習慣を暮らしに取り入れましょう
日常の動作を一工夫すると軽い運動になります。1日合計で30分程度を目安に続けましょう。

- 【例】
- エレベーターに乗らず階段を使う
 - 歩いて買い物に行く(大股で腕を大きく振る)
 - つま先立ちを繰り返す(信号待ち、歯磨き等の間)



児童虐待

Q 児童虐待を見聞きしたときは、区の子ども家庭支援センターか都の児童相談所、あるいは警察に連絡することになっていますが、そのことを知っていますか

A 「知っている」が7割弱

一人で悩まず相談してください

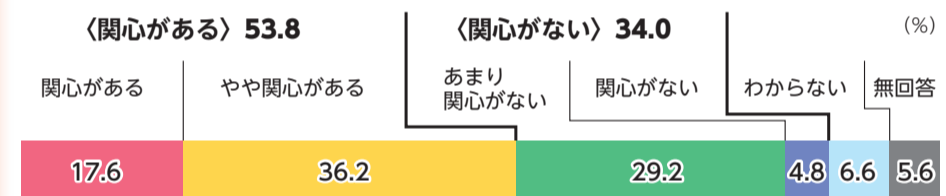
子ども家庭支援センターでは、子育てや、乳幼児から17歳までのお子さんの相談に応じるほか、児童虐待の通告機関の役割も担っています。また、区内16か所にある子育て交流サロン(右写真)では、気軽に育児相談ができます。子育てで困ったときは、一人で悩まず相談してください。



区政への関心と要望

Q あなたは、区政にどの程度関心がありますか

A 「関心がある」方が5割半ば近く



Q 荒川区の事業のうち、今後、特に力を入れてほしいと思うものを、第1位から第5位まで選んでください

A 「地震などの防災対策」が第1位

全体	ライフステージ別 1位
1位 地震などの防災対策 (37.0%)	家族形成期 幼児・児童の子育て支援の充実(57.4%)
2位 高齢者福祉の充実 (31.7%)	家族成長前期 学校教育の充実 (47.7%)
3位 幼児・児童の子育て支援の充実(24.9%)	家族成長後期 高齢者福祉の充実 (30.8%)
4位 地域防犯の取組 (22.2%)	家族成熟期 地震などの防災対策 (42.5%)
5位 子どもの安全対策 (20.4%)	高齢期 高齢者福祉の充実 (46.3%)
	高齢期一人暮らし 高齢者福祉の充実 (54.2%)
	一人暮らし 地震などの防災対策 (37.6%)
	その他 地震などの防災対策 (37.9%)

ライフステージ

家族形成期	「39歳以下で同居している子どものいない夫婦」または「同居している一番上の子どもが小学校入学前」
家族成長前期	「同居している一番上の子どもが小・中学生」
家族成長後期	「同居している一番上の子どもが高校生」
家族成熟期	「64歳以下で同居している一番上の子どもが学校卒業」
高齢期	「65歳以上で同居している一番上の子どもが学校卒業」または「65歳以上で同居している子どもはいない」
高齢期一人暮らし	「65歳以上で一人暮らし」
一人暮らし	「64歳以下で一人暮らし」

さまざまな区の取り組み

区民の皆さんから要望の高い事業に関して、区では次のような取り組みを行っています。

地震などの防災対策

- 永久水利施設の整備、送水訓練の実施
- 震災時の屋内安全対策にかかわる器具設置費用の助成
- 空き家対策の推進(空き家対策計画の策定、解体費用の一部助成等)
- 耐震化の推進(耐震診断・補強設計・補強工事・建替工事費用の一部助成等)



▲夕入公園での遠距離送水訓練

高齢者福祉の充実



▲まるごと元気アップ教室

- 介護予防・日常生活支援事業の充実
- 認知症施策の推進(認知症地域支援推進員の配置)
- みまもりネットワーク事業の推進

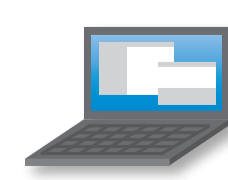
幼児・児童の子育て支援の充実

- 町屋地域に私立幼稚園を誘致(平成29年4月に開園)
- 認可保育園・認証保育所の新規開設等による保育定員の拡大
- 国家戦略特区制度を活用した都立汐入公園内の保育施設・学童クラブの整備
- にこにこすくーとと学童クラブを一体型で運営する放課後子ども総合プランの推進



あらかわ・Eモニターを募集

あらかわ・Eモニターは、継続的に区政に対する意見・要望を伺い、区政の参考にするための制度です。任期満了まで活動した方に、区内共通お買い物券1000円分を差し上げます。



任期	4月下旬～平成30年3月31日
対象	区内在住で、4月1日時点で18歳以上の、パソコンでインターネットができる方(連続する場合は、2期まで)
定員	100人(選考) 内容 インターネットを利用した、専用掲示板への投稿やアンケート調査への回答
申込み方法	荒川区ホームページ電子サービスの電子申請で ※区役所1階総合案内等で配布する申込書を持参等でも申し込みます
締切り	3月31日(金)必着
申込み・問合せ	秘書課(区役所1階) ☎内線2163